

マイクロレート成功への最大の秘訣

The Biggest Key to My Success at the Micros (It Might Shock You)

私はオンラインポーカーの世界では、NL2(\$0.01/\$0.02)とNL5(\$0.02/\$0.05)で最も勝った男として知られている。このレートでの24面打ちで最も高いウィンレートをたたき出した。なにも自慢をしているわけではない。これらのレートはオンラインポーカーの最低レベルで、高いレートにのぼりもつと稼ぐための点火剤として、このレートを攻略することは重要なことである。

しかし、ほとんどの人はそこまでこぎつけない。彼らは最低レートにおいても勝つことはもちろん、クラッシュすることもかなわないからだ。このことは私には奇妙に思える。もちろんポーカーは一握りのプレイヤーが長期的に大きく勝てるゲームである。しかし、ここはNL2とNL5なのである。私は現在でも時折このレートでプレイしており、その経験からどちらのレートも今もなお動物園状態だと言える。特にNL2にはものすごいドンキーがあちこちに住み着いておりしばしば遭遇することになる。そしてこれらのレートの常連は控えめに言っても全員ビギナーである。彼らはポーカーの達人ではない。

●私が最低レートで成功した最大のカギとは？

まず最初に言いたいのは、よく言われる標準的なプレイ方法、最低レートでは「バリューベットを徹底する」および「ブラフをしすぎない」ことは確かにカギである。まったくその通りである。そして私のこれらのレートで成功した理由の多くもこの二つにある。しかし、あまり触れられない三つ目のルールがあるのだ。このことについて、深く議論されているのを見たかどうかとも思い出せない。びっくりしないように備えてくれ。

徹底してフォールドしたのだ

そう、私はベストハンドかそれに極めて近いハンドを持っているとは思えない場合のほとんどは、あきらめて相手にポットを譲ってやった。このレートであまり重要でないマージナルなエッジを求めて闘ったりはしなかった。なぜなら私の成功にはそのエッジを集めることは大事ではなかったからだ。その代わりに、私は強いハンドを作った時にひどい相手から極力引き出すことに集中した。レギュラー同士の不毛な戦いにも参加せず、奇策もほとんど用いず、ポットの主導権を持っていれば(ほとんどの場合、私は持っている)、単にフロップでコンティニューエーションベットを打ち、それで取れなければあっさりあきらめる。実につまらない。まったく魅力的でない。しかし、このレートではこれが非常に効果的なのだ。

●君の赤線はどうですか？

長年の間、ポーカー掲示板などでは、赤線について強い固定観念が持たれているようだ。赤線について知らない人のために説明すると、赤線は、Holdem ManagerやPokerTrackerで使われるグラフの線(赤色)のことで相手をフォールドさせるなどショウダウン以外での勝ちを表す。私の赤線は良いものではないことを認めなければならない。以前ブログに載せたことがあるが、下向きに45度に傾いたものである。赤線だけを見ればひどい失敗をしていることになるだろう。

しかし、私はこのことでは心配していない。なぜなら、人々が赤線の向きにこだわっている一方で、私が注目しているのは緑線だ。緑線とは、HMやPTのグラフでトータルの勝ちを表わす線の色のことである。

ご存知の通り、トータルでの勝ちこそが重要なのだ

私は、NL2やNL5でのノンショウダウンブラフ王には決してなりえない。これらのレートにおいて私の赤線は、常にひどいものであることが運命づけられている。しかしながら、私の緑線は強烈に魅力的である。正しい方向に45度の傾きで伸び続けている。

●でも、赤線を下げること、プレイに悪い“くせ”がつくんじゃないの？

マージナルな状況の大半でフォールドしてしまうのは、NL10(\$0.05/\$0.10)以上でのウィンレートを上げるためにはよろしくない。NL10以上のレートでの相手には付け込まれてしまいやすいからだ。しかし、もちろんNL10以上でのことは今回の記事の対象外である。最低レート限定でこの戦略を使うことは、レートを上げた時に変えなければいけない悪い“くせ”をプレイヤーに身につけさせるものだ、と非難するものもいる。

それに対する私の答えは変わらない。「相手への適合こそがポーカーでの成功につながることを、あなたはまだご存じないのですか？」と。私は、シンプルなアプローチを取ることを、NL2やNL5のプレイヤーに向けてブログや著書、ビデオで一貫して説き続けてきた。このレートで成功するのにそれが最善の戦略だからである。

しかしながら、NL25(\$0.10/\$0.25)やNL200(\$1/\$2)といったレートで、このようなプレイは決して薦めるものではない。実際はむしろ逆で、上のレートで勝つにはまったく違う戦略による異なったゲームをしなければならないので、マージナルな状況でも戦っていかなければならないことが多くなる。

最大限のEVを稼ぐためにそこでのゲームに適合することは、勝ち組プレイヤーとして欠かせない。もっともわかりやすい例を挙げよう。プレイマネーのネットポーカーでプレイしたことがあれば、相手がまったく降りないことがわかるだろう。毎ハンド、ほとんどのプレイヤーがリバーを見に行く。もしプリフロップでオールインしたとしても何人かそれにコールしてくるだろう。

そのようなプレイマネー卓において、AAを持っていたとしてもBBの3倍にレイズするのは恐ろしい事態を招く。テーブルの全員がコールしてきて、ベストなスターティングハンドを持っているのにフロップ以降で難しい事態に追い込まれる。相手にあわせた最適なプレイは、プリフロップでシンプルにオールインすることだ。

もちろん、リアルマネーのキャッシュゲームであれば、いきなりAAでプリフロップオールインしろと指導したことはない。リアルマネーにおいて相手のプレイは全く異なり、いきなりオールインすれば毎回単にフォールドするだけである。ポーカーで成功するというのは、相手に適合するということである。すなわち、すべてのレートで適用できる単純な戦略というものは一切存在しない。

●NL2やNL5でシンプルな戦略を使うことによる隠れたメリット

最低レートにおいて、マージナルな状況ではフォールドすることを薦めるのには、もうひとつ大きな理由がある。最低レートで成功するには非常に重要なコンセプトなのだが、このことについて議論されているのも見たことない。

この戦略は、ティルトを防ぐにも有効なのだ。

NL2やNL5でプレイする者は、ほとんどポーカー歴がないビギナーが大半である。ビギナーは、ティルトにうまく対処できないことは有名だ。ティルトによる影響は、リバーでの不思議なコールからプリフロップでハンドを問わずにオールインを繰り返すことまで様々な症状となって現れるが、99%の人は前者のような形でティルトする。しかし、これは長期的なウィンレートにも大きな影響がある。

以前私は“spew test”と呼ぶ、その月の主な負けハンドを抽出して1, 2時間研究を行い、もし理想的にプレイできていたら負けをどれだけにとどめられたかを自問自答していた。そしてしなくてよかった負けを積算したところNL25でたくさんプレイしていた時期でその合計は\$800に及んだ。

良くないコールやティルト気味な判断によって月に32バイイン分もが失われていたのだ。自分は経験豊かなプレイヤーで、ティルトしにくくかなり手堅いプレイができるとの自信があっても、この結果だったということに注意してほしい。

なので、ビギナーには、マージナルな状況でビッグポットを争うことを必ず避けるようにすることをお薦めしたい。ティルトすることによる精神的な影響により、引き続き大きなポットを失う危険性が高いのである。マージナルな状況に頻繁に自分を追い込むようなプレイによる君のエッジは、コインフリップよりも少ないものとなる。マージナルな状況のポットを連続で落とす可能性は高い。

ティルトによってスタック全てを失うことによる隠れたコストは、これまできちんと議論されてこなかった。“spew test”のようなやり方で分析をしているという人の話も聞かない。ウィンレートが平均的なプレイヤーであれば、この違いはほとんどのプレイヤーにとって勝ち組と負け組の明暗を大きく分けるものになる。

●NL2やNL5で勝つことは、退屈である

これまでに述べたような最低レートで勝つための方法はエキサイティングなものではない。多くの新しいプレイヤーは高いバイインのトーナメントの様子をテレビで見てポーカーに興味を持つ。私もそうだった。しかし、テレビでのポーカー番組には多くの編集が入っている(12時間のプレイからおもしろいものを選んで1時間にまとめているのだ)。さらに言えば、かかっている金額やスタックサイズもNL2やNL5と異なる。

オンラインでのキャッシュゲームのスタックは通常100bbであるが、ライブトーナメントのファイナルテーブルではせいぜい40bbくらいである。この違いは同じポーカーでもまったく違ったゲームとなる。スタックの小ささにより、マージナルなハンドでもどんどんオールインできる。

一般に(特にNL2やNL5において)、勝てるポーカーというのは退屈である。君がテレビで見たプロの多くも、ファイナルテーブルにたどりつくために、ずっと退屈なグランドをしてきたのである。単にその姿をあなたに見せていないだけのことだ。テレビでは、これまでどれだけのハンドを単にフォールド

して小さなポットを譲ってやったかを隠しているのだ。なぜかって？ それは、エキサイティングでないから！ テレビ局のディレクターも視聴率につながらない、そんな内容を望んでいない。

しかし、規律正しくグラインドし続けることは、ポーカーで勝つために欠かせない真実である。NL2やNL5に生息する多数のドンキーやコーリングステーションの群れの中でプレイし成功するには、君のエゴを捨て去ることが極めて重要だ。テレビで見たハイステークスプレイヤーのような華麗なプレイをNL2やNL5で試してみれば、君のウィンレートは必ず悪い影響を受ける。シンプルなプレイを続けることこそが、最大の利益を重ねることができるのだ。

■The Biggest Key to My Success at the Micros (It Might Shock You) | BlackRain79
<http://www.blackrain79.com/2014/11/the-biggest-key-to-my-success-at-micros.html>

同様の趣旨をより具体的に記したこちらの記事も参考になると思います。
<http://hyahhoopoker.com/others/beatingmicro>

コメント